

事例を交えて具体的に説明。

英会話ができることとは全く別。論文の表現があり、自分では英作しないこと。他の分野の論文の表現を真似て英作する。接続詞や副詞を多彩に（and, but, so などになりがち）まぜるとより英語らしくなる。

方法論は同じ分野の既報のものを用いる。

いつ書くか。アルバイト、暇な出張、当直のとき。大学院生の間。学会などの移動中。